

dou-shibuya facsimile Pal²

中小企業家同友会 渋谷支部 月刊新聞 パルパル

2011年11月号

発行 東京中小企業家同友会
渋谷支部 PAL²編集部
Mail sasaki@ad-pr.net
発行責任者 三木 秀治
http://www.tokyo.doyu.jp/sibu/5sibuya/

今月の一言

研究集会を終えて

10月21日に北とぴあで行われた19研(第19回東京経営研究集会)は皆さまのご協力により500名の参加で盛会となりました。

私が参加した第二分科会では橋本先生が「日本の中小企業は世界最強」というテーマで日本の中小企業がいかにしぶとく生き残っているかを熱く語っていただきました。中国がブラックホールのように世界中の製造業を飲み込もうとしているがやがては日本が自動車・部品王国になるだろうという構図をわかりやすく説明されました。また、記念講演では今年3月11日の震災の日に行われる予定だった佐藤繊維の佐藤社長が衰退する繊維産業の中でどうやって世界のトップ企業と対等な競争ができるようになったか、イタリア、フランスなど海外進出という夢の実現を自らの体験からお話されました。

多くの経営体験を通して「夢」を持ち続け、日本の中小企業の強みを発揮すれば必ず達成できるという確信を与えてくれる19研だったと思います。

ありがとうございました。

川崎インターネット(株)
三木秀治

例会スケジュール

◆渋谷支部幹事会

☆日時：11月4日(金)18:30~20:30
☆会場：渋谷区商工会館

◎今月より幹事会前30分韓国語教室開催

◆渋谷経営塾

☆日時：11月10日(木)18:30~20:30

☆会場：全理連ビル会議室

☆参加費：20000円

☆講師：販売力強化の第一人者！
坂 陽風氏

◆「ニューヨークと東京をつなぐ Skype・Ustream・リアルタイム実況生中継！」

新 会員紹介

氏名	島山 昇
会社	株式会社 エポック
役職	代表取締役
所在地	東京都 渋谷区東2-6-18
電話	03-3409-7779
業務内容	衣料品向け副資材及び販売促進ツールの企画・製造・販売

「世界市場で闘う会社経営！前向きな経営者が強い企業を作る！ニューヨークを拠点に活躍するホフマン博士と質疑応答などライブ講演」

☆日時：11月14日(月)18:30~20:50
☆講師：Dr.エドワード ホフマン氏
(心理学者・元東大客員教授)

☆会場：東京同友会会議室

☆参加費：20000円

☆主催：WORLD BUSINESS NET (TOKYO Biz Net 第1200回)

◆第85回渋谷朝会

☆日時：11月18日(金)朝7時~8時半

☆会場：株式会社サンシステム研修室

渋谷区渋谷2-10-13 東信青山ビル8階

☆会費：無料

☆発表者：山口衛氏
(山口経営研究所所長)

☆テーマ『最近の良い会社、危ない会社—コンサルティングの現場から—』

◆渋谷支部11月例会

☆日時：11月25日(金)18:30~20:50

☆会場：渋谷区商工会館

☆会費：20000円

☆テーマ：「不景気を吹っ飛ばせ！ネット・ショップで潜在顧客をほり起こそう！その商材、眠っていませんか？」

☆講師：首代 憲孝氏
(株)縄忠 代表取締役

(株)縄忠 代表取締役

数村いづみのごめんあそばせ Vol.48

経営研究集会に参加してきました。第三分科会で7月より半年がかりで経営指針作成に参加しているのですが最近はずいぶん女性経営者、2代目の若い方々が増えた。20人前後の自主的な参加者の中に、我が渋谷支部からなんと5人ものメンバーが含まれている。恥ずかしながら私は、長く経営をしている感覚がなく、この空前の不況にさらされて、自ら必要と感じ今回初めて積極的に参加しようと思ったのである。会社設立21年目にして、なぜ経営の初期の時点であるか。企業理念とは「企業の誇りを言葉にしたもの」、「家業」から「企業」へ、そして公器となることを、もと女性部長の栗田さんから学んだ。中小さまざま規模はあるが皆自らの一生という時間という名の財産と、私財をかけて毎日戦っているその実体験に裏づけられた言葉は私の心に素直に届けられた。パブルの時期を越えて華やかに脚光を浴び、消えて行かれた方々を何人が拝見して、おそろしく醒めた気持ちで物事を見ている自分がある。「本物」とは

青年経営者 全国交流会に参加して

分科会の時はわかりませんでした。が、全国から1000人近くの経営者が集結した時の会場の雰囲気には圧倒されました。

別府青年部部長より、「全国から意識の高い経営者が集まる場所という説明を受けていた通り、全国の経営者(特に近隣の都道府県)と交流ができたのはとても良い財産になりました。

茨城同友会の方々とは二次会で合流し、年末の忘年会について、いろいろと意見をご提案頂いただけでなく、茨城同友会も年末の忘年会に参加したいというお申し出をいただきました。この点については、今後の幹事会で議論していきたいと考えております。

(以下、分科会や記念講演の感想など)

◎私は第11分科会に参加致しました。「富山の薬売り」が中小企業のあり方についてお話し頂くという内容だったのですが、お話の途中やグループ討論の際に緊急の電話が入り、ほとんど分科会に参加できなかったのが

非常に残念でありました。現在のところ、事務所は私一人で運営しているのが代わりがないというのが原因なのですが、この点は私の課題点だと感じました。

◎懇親会はとても大きい規模で開催されたので驚きました。全国から経営者が一斉に集まる場面も大変貴重で、気持ちが高揚致しました。交流を求めている経営者の集まりであるので、初対面にも関わらず、会場にいる経営者達が気さくに会話に応じてくれたことに温かみを感じました。

また、二次会では近隣の都道府県の経営者との交流が図れました。私は年末に開催する青年部の忘年会をどのようにすべきかという相談をもちかけたのに対し、茨城同友会の方が親身になって話を聞いて下さり、忘年会の企画構想がさらに膨らみました。

内容としては、茨城同友会の方が旅館を経営しているので、泊りがけで懇親を図るというものです。2000人収容可能という旅館なので、会場としては問題ないでしょう。会場が茨城県つくば市ということと、費用面さえクリアできれば面白い企画になるかもしれません。

また、会議場などの施設もあるため、忘年会とは切り離して、近隣の都道府県の経営者との交流会の場として

ても利用できるのではないのでしょうか？会員交流担当の私としては、この企画との出会いが青全交の一番の収穫だったのかもしれない。

◎記念講演は前日の明け方にまで及ぶ青年部有志による討論会の影響で、やや遅刻しての参加となりました。興味は仕事、「睡眠時間は4時間半程度」とおっしゃっていた能作社長の熱意に圧倒され、怠惰な生活をしている自分が恥ずかしくなりました。

能作社長が作る工芸品の美しさに自分の心が癒されただけでなく、「日本製だから売れる時代ではない、販売先のニーズに合わせていくことが大切だ」という言葉に感慨を受けました。

講演の後は被災された若手同友会の方々からの報告がありました。震災の悲惨さがわかる映像を見て、半年ほど前のできごとであるとは信じがたかったです。

苦難を乗り越えようと尽力されている若手同友会の方のお話を聞いて、逆に励まされ、未だに震災の影響で苦しんでいる被災地の方に何か自分ができることはないのだろうかかと再度考える機会を与えて頂きました。

以上

殿柿 誠 行政書士・ライムパートナー 法律事務所